

第3回 2期開発ナレッジ・キャピタル企画委員会議事概要

日 時：平成22年3月17日(水)10:30~12:20

場 所：阪急グランドビル26階 第1会議室

第3回委員会では、これまでの2期開発ナレッジ・キャピタル企画委員会およびワーキングでの議論を踏まえ、「大阪駅北地区2期ナレッジ・キャピタルの実現に向けて～報告書(案)～」をとりまとめた。

議論の内容

2期ナレッジ・キャピタルの取組みについて

- ・ 地球規模の環境問題を取り巻く動向は激しく変化しているため、これまで議論してきた国際戦略やオープンイノベーション等への取組みについて、今日からでも具体的な行動に移す必要がある。
- ・ 2期ナレッジ・キャピタルは、大阪だけでなく関西のナレッジを結集させ、オール関西で創ることが大切である。
- ・ 2期ナレッジ・キャピタルの取組みの情報発信をしっかり行うことも重要である。

環境ナレッジにおける取組みについて

国際戦略について

- ・ 2期ナレッジ・キャピタルがアジアの環境をリードする場であることをPRし、アジア諸国の支持を得ていくことが重要。
- ・ 東南アジアを取り込まないと日本の成長はない。そのためにも、国際標準化推進機構等は是非とも進めていただきたい。

人材育成について

- ・ 組織の壁を越えた動きを創りだしていくことが、関西に求められている人材育成である。
- ・ 環境エリートの育成に関して関西全体で意識を共有することが重要で、環境をテーマとした企業の枠を超えた人材交流のを活発化も必要である。

オープンイノベーションについて

- ・ オープンイノベーションセンターは関西にとって非常にインパクトのあるものになる。その中で環境コミュニケーションをどうとるかが課題である。
- ・ コミュニケーションの場・機会をつくることは非常に重要だと思う。またその場に参加した人が満足を得られるような場とすることが重要である。
- ・ オープンイノベーションの拠点の運営主体は民だけでも官だけでもだめで、連携することが最も大切である。

先行開発(ITCへの取組み)との連携について

- ・ 気候変動や温暖化だけでなく、土壌、大気、水等の従来の環境問題とITのリンクを考えてみることも考えられる。
- ・ 地球が危機的状況にあることを、ITを活用し可視化するというアイデアは、環境教育の面でも素晴らしい。
- ・ 大気汚染等の従来型の環境問題のデータをデータベース化し、環境問題で困っているアジアの人たちが自由に活用できるようになれば、非常に先進的である。

実証フィールドにおける取組みについて

- ・ 環境コミュニケーションを促進するために、市民をはじめ多様な人々が交流するコミュニティの形成支援を行う。また、環境ナレッジの成果を展示する場とする。
- ・ 環境ビジネスに取り組む企業のマーケティングを支援するために、ミニ環境 EXPO を開催するなど、環境技術を実証展示する場とする。
- ・ 国内外からの視察団を受け入れる環境ツアーを実施するなど、当地区を環境先進都市のモデルとして情報発信する。
- ・ 技術はすぐ陳腐化することを理解したうえで、常にアップデートできるような実証フィールドの仕組みや仕掛けが大事である。
- ・ 一般来訪者が環境先進エリアとはどんなものかが実感でき、生物多様性への配慮も含めて心の安らぎも感じること(アンビエント・ライフスタイル)ができる場にすべきである。

先行的に取り組むべき事業や今後の推進体制について

先行的に取り組むべき事業

- ・ 大阪市からは、アジア環境技術国際標準化支援センター(仮称)の設置を国に要望したと、イノベーション創出をめざす産学官連携拠点である「大阪オープンイノベーションセンター(仮称)」の開設を進めているとの報告があった。
- ・ 国の新成長戦略と歩調をあわせて(戦略プロジェクトと位置づけてもらって)いくことが重要であり、国などに働きかけるべきである。
- ・ 環境技術とのリンクを主眼とした、アジア諸国、関西他地域自治体、NPO や市民団体との環境コミュニティの形成・環境コミュニケーションの推進が求められる。
- ・ それ以外の項目についても、取り組むことができるものから動かしていく必要がある。

今後の推進体制(産学官連携)について

- ・ 産学官連携の重要性を強調することが重要である。
- ・ 2期ナレッジ・キャピタルの準備組織が、標準化や産業化を進めていく組織として発展していくことも考えられる。
- ・ 民間企業が「やる気」になるような雰囲気・仕掛けを作っていくことが重要である。

今回とりまとめた「大阪駅北地区2期ナレッジ・キャピタルの実現に向けて～報告書(案)～」については、本日の議論を反映させ、次回の大阪駅北地区まちづくり推進協議会に報告する。

以上